

釧路湿原自然再生協議会
第 32 回 再生普及小委員会
議事要旨

日時：平成 30 年 12 月 14 日（金）14:00～15:30

場所：釧路地方合同庁舎 5 階 第一会議室

1. 開会
2. 議事
 - 1) 再生普及小委員会の活動報告
 - 2) ウェブサイト等による情報発信について
 - 3) その他
3. 閉会

事務局

挨拶

（資料確認）

委員長

議事 1 について事務局より説明願う。

【議事 1. 再生普及小委員会の活動報告】

事務局

資料に基づき内容説明。

（資料 1-1 再生普及行動計画オフィス取組みについて）

（資料 1-2-1 環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について）

（資料 1-2-2 現地見学会等アンケート結果）

委員長

質問はあるか。

議事 2 について事務局より説明願う。

【議事 2. ウェブサイト等による情報発信について】

事務局

資料に基づき内容説明。

(資料 2-1 WEBサイトによる協議会からの情報発信について)

(資料 2-2 現行WEBサイトのコンテンツ一覧)

委員長

予算の範囲内でできる限りのプランを作成した。2月26日開催予定の釧路湿原自然再生協議会において今後の方針を報告したい。

委員

前回の再生普及小委員会で提案した誤りを含めたデータ更新が考慮されている。各小委員会の専門家に呼びかけてホームページをチェックしてもらってはどうか。

委員

作業を進めるにあたりワーキンググループを作るとのことだと思うが、ボランティアに2、3日缶詰めになって頑張ってもらおうという事か。

委員

そこまでは考えていなかった。

委員長

研究結果に関する指摘をいただくことは無理なくできる。連絡の受け場所をどこか用意しておけば良い。

委員

情報をまとめたのは事務局か。非常に整理されている。

委員

詳細情報まで検索できることが今後の検討課題である。

委員長

それを目指している。

事務局

「構造がわかるナビゲーション」を各サイトに貼り、少しずつ修正していきたい。

委員

情報量が大きくなると、それを構築するには大変な労力が掛かる。将来的にそういうこ

とがスムーズにできれば良い。

委員

一般の方が初めて釧路湿原自然再生事業にアクセスし、自然再生事業の進捗状況等を調べるためにはガイドブックの PDF を見ていただく。その後細かい事が知りたい場合には各小委員会のポータルサイトに進むという考えか。

委員長

そうである。

知識が全くない方から見ると、「土砂流入」、「水循環」、「旧川復元」などはすでに難しい言葉であり、そういう言葉の壁を和らげる努力をしたい。

委員

今後の予定について記載するべき。

委員長

まずは、2月26日に開催予定の釧路湿原自然再生協議会に報告し、了承された場合にスケジュールを考える。

事務局

詳細部分については各事務局と話ができていない。今年度中か次年度中に事業成果を一枚の PDF にできれば良い。事務局内で検討して進める。

委員

資料作成を手伝った。役割分担を整理して情報発信を行っていくという提案である。データセンターでは情報更新が全く行われていなかった。再生普及小委員会として情報発信の最低限のルールはしっかりと共有した方が良いということで整理した。

協議会のホームページや会議の報告は一般の方にはわかりにくい。「⑤自然再生事業の進捗状況報告（一般向け）」では、学校教員向けレベルの情報の質と量で考えている。自然再生の状況、各実施計画の進捗等がわかる内容で A4 版 PDF1 枚程度にまとめて発信したい。再生普及推進連携チームの中で子供にも発信していこうという議論があったが、それには別の取組みが必要だと考えている。

委員

データの著作権について、世界的基準であるクリエイティブコモンズを明記するべき。

委員長

十分に注意を払って対応する。

データセンターに関する意見は様々なものがあったが、3つに絞って更新したい。①図表や情報の年次更新、②誤情報の修正追記、③新たな情報と掲載ニーズへの対応。

委員

既存のホームページが複雑な構造であることに驚いている。今後は本格的に関わって行きたい。

委員

SNS では、Facebook を使用する方は年齢が高く、Twitter は継続して使用されているようである。私自身も2年、3年協議会のホームページを見た事が無い。細目は今後も見ないだろう。

委員

標茶高校の生徒はデータセンターのホームページは使いやすいと言っている。更に様々な情報があれば子供達にとっても有益である。

資料47ページ、D-7に「FBやブログ化しなければ情報更新が困難」と書いてあるが、標茶高校ではHTMLのソースをいただければ、作ることや作成したPDFをメール送信することも可能である。

Facebookは利用者が低年齢化してきており高校生も利用している。

委員長

実際に学校教育でサイトを使っていただけのはありがたい。

資料2-1に基づいてこの提案を協議会へ提出したいが良いか。

委員

(はい。)

【議事3. その他 「釧路湿原自然再生パネル」・「釧路湿原自然再生ガイドブック」
英語版の作成について】

事務局

資料に基づき内容説明。

(参考資料1 「釧路湿原自然再生パネル」・「釧路湿原自然再生ガイドブック」英語版の作成について)

【議事3. その他 いい川・いい川づくりについて】

事務局

(参考資料2 いい川・いい川づくりについて_標茶高校・環境コンサルタント(株))
資料に基づき内容説明。

委員

第11回いい川・いい川づくりワークショップ全国大会へ標茶高校と当社が参加した。審査は3次まであり、1次審査では30チーム程度がパネル発表を行った。私からは自然再生協議会、ワンダグリンダの取組みを行っている当社とパークボランティア、川レンジャーの活動などを説明した。2次審査は7グループ程度に分かれ、審査員が個別に質問を行った。十数チームが参加した十勝勢を差し置いて標茶高校が優勝したことは大変嬉しかった。

委員

本校の取組みは、総合的な学習という授業の時間で行っている研究活動であり、放課後や休日にも取組みを行っている。ガイド、地域交流、水質・植物調査の方法を教えるなど、地域を巻き込んで行ってきた活動が高評価であった。また、高校生のグランプリ受賞は初めてであった。

本日は2回目(全3回)のプレゼンテーションの発表の様子をそのまま見ていただきたい。

<<動画再生>>

現在、標茶町とのコラボを計画中であり、2月7日、21日に標茶発SL冬の湿原号でガイドを行う予定も決まった。また、ふるさと納税の商品として高校生がガイドを行うということも検討している。内容は、話題のくしろ湿原ノロッコ号に乗り、その後標茶高校で生徒がガイドするというようなことで進めており、そういうことも踏まえて評価されている。

皆さんにお世話になり感謝している。

【議事3. その他 情報提供について】

事務局(釧路開発建設部)から、釧路川河川整備計画(国管理区間)(平成20年3月策定)の見直しに向けた情報提供を行った。

委員長

以上で予定していた議題は終了した。

事務局

次回の釧路湿原自然再生協議会は2月26日開催を予定している。協議会終了後に紫綬褒

章を受章された中村委員長の記念講演会も併せて実施する。

第8回湿原学習学校支援ワーキンググループは1月15日に開催予定である。

再生普及小委員会を終了する。

(終了)